

2020年6月30日

第14期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

貸借対照表及び個別注記表

株式会社 阪急フーズ

貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)	3,025,458	(負 債 の 部)	162,236
流 動 資 産	2,817,945	流 動 負 債	160,866
現金及び預金	7,627	買掛金	82,253
売掛金	204,358	未払金	21,884
商品及び製品	157,203	未払費用	12,433
仕掛品	42,641	未払法人税等	22,525
原材料	1,027,060	未払消費税等	11,093
貯蔵品	1,207	預り金	779
前払費用	2,614	賞与引当金	9,897
短期貸付金	1,353,313		
その他流動資産	21,917		
固 定 資 産	207,512	固 定 負 債	1,370
有形固定資産	148,585	役員退職慰労引当金	1,370
建物	5,058		
建物附属設備	12,542		
構築物	0	(純 資 産 の 部)	2,863,221
機械及び装置	95,967	株 主 資 本	2,863,221
器具及び備品	6,652	資 本 金	10,000
土地	28,365	資 本 剰 余 金	2,433,552
		資 本 準 備 金	1,000
無形固定資産	5,965	その他資本剰余金	2,432,552
ソフトウェア	1,678	利 益 剰 余 金	419,668
施設利用権	4,286	利 益 準 備 金	4,389
		そ の 他 利 益 剰 余 金	415,279
投資その他の資産	52,961	繰越利益剰余金	415,279
投資有価証券	25,000		
差入保証金	16,649		
長期繰延税金資産	9,689		
その他投資	1,622		
合 計	3,025,458	合 計	3,025,458

個別注記表

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

2. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

子会社株式	移動平均法
-------	-------

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産
評価基準は原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）によっております。

原材料	総平均法
-----	------

仕掛品	総平均法
-----	------

製品	総平均法
----	------

3. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産	定額法
--------	-----

無形固定資産	定額法
--------	-----

4. 引当金の計上基準

貸倒引当金	売上債権等の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権につきましても、貸倒実績率を使用し、貸倒懸念債権等特定の債権につきましても、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。
-------	---

賞与引当金	従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。
-------	---------------------------------------

役員退職慰労引当金	役員及び執行役員の退職慰労金の支給に充てるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。
-----------	--

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

消費税等の会計処理	消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜き方式によっております。 ただし、控除対象外消費税等は、発生事業年度の費用として処理しております。
-----------	---

当期純損益金額

当期純利益	45,362千円
-------	----------